1977年度支部総会報告 (1)

——北海道，東北，中部の各支部——

●北海道支部●

開催日時　1977年6月18日
場　　所　電々公社五十嵐寮
議　　事　(省略)

○1976年度収支決算書

1976.3.1～1977.2.28

科　目	予　算	決　算
(収入の部)		
本部交付金	178,000	178,000
参加費	10,000	15,000
資料等頒布収入	0	0
利息	0	5,456
雑収入	9,000	18,000
合計	197,000	216,456
(支出の部)		
会議費	70,000	93,104
講演会費	60,000	25,520
研究会費	40,000	6,870
通信費	20,000	9,580
交通費	8,000	0
事務費	25,000	7,920
予備費(雑費)	20,000	0
合計	243,000	142,994
当期運営残高		73,462
前期繰越金		219,276
次期繰越金		292,738

○1977年度事業計画案

(1) 研究会
年間3～4回実施する．

(2) 月例講演会
今年度1回を予定．テーマ，講演者については別途決定する．

(3) 日本OR学会創立20周年記念講演会
つぎの案にて今年度秋に実施する．(9月上旬)
テーマ　"航空事業の将来について"
講演者　近藤次郎(東京大学工学部)

(4) 昭和53年度春季大会の札幌開催
昭和53年5月下旬を目途として，春季大会を札幌市で開催することがきまったので，今年度において大会実行委員会を発足，諸般の準備に入ることとする．

○1977年度収支予算案

1977.3.1～1978.2.28

収入 科目	収入 予算	支出 科目	支出 予算
前期繰越金	292,738	会議費	90,000
本部交付金	178,000	講演会費	60,000
会議費負担金	10,000	研究会費	40,000
		通信費	20,000
		事務費	30,000
		交通費	10,000
		雑費	30,000
		次期繰越金	200,738
合計	480,738	合計	480,738

○1977年度役員

支部長　加地郁夫(北大)
運営委員　沼田久(小樽商大)，阿部昌信(道総研)，天野豊治(北海道工大)，大内東(北大)，宮本行夫(電々)
監事(兼運営委)　村上融(国鉄)，宮町昌宏(北海道電力)
幹事(兼運営委)　浅利英吉(東海大)，中山道夫(北海道電力)

●東北支部●

開催日時　1977年5月20日
場　　所　東北電力会議室
議　　事　(省略)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．

○1976年度収支決算書

1976.3.1～1977.2.28

科目	予算	決算
(収入の部)		
本部交付金	164,000	164,000
利息	1,500	2,165
合計	165,500	166,165
(支出の部)		
会議費	90,000	89,346
講演会費	16,000	7,000
研究会費	32,000	29,100
印刷費	10,000	3,000
通信費	25,000	12,350
交通費	20,000	18,570
事務費	6,000	760
予備費	11,193	0
合計	210,193	160,126
当期運営残高	△44,693	6,039
前期繰越金	44,693	44,693
次期繰越金	0	50,732

○1977年度事業計画案

(1) 会議

a. 総会 1回開催

b. 運営委員会 1回開催

c. 幹事会 3回程度開催

(2) 講演会

2回程度開催(企業，団体等との共催を含む)

創立20周年記念事業に合わせた地方講演会をも開催する.

(3) 研究会

3回程度開催(研究成果発表，素材提供，自由討議等による研究)

51年度に開催したOR講座が好評であったので，52年度もこれに類した企画を検討する.

(4) OR普及活動

各職場の実情に合った普及活動を積極的に行なう.

(5) 会員増強

上記活動その他を通じOR学会への入会勧誘を行なう.

(6) 親睦行事

会員の親睦を図るための行事を1回程度行なう

○1977年度収支予算案

1977.3.1～1978.2.28

収入		支出	
科目	予算	科目	予算
前期繰越金	50,732	会議費	95,000
本部交付金	164,000	講演会費	16,000
利息	1,500	研究会費	44,000
		印刷費	10,000
		通信費	17,000
		交通費	25,000
		事務費	2,000
		予備費	7,232
合計	216,232	合計	216,232

○1977年度役員

支部長 松田 彰(東北電力)

副支部長 御園生善尚(東北大学)，花木充夫(東北電通局)

運営委員 和田秀三(東北大)，竹内清(東北大)，木村正行(東北大)，古瀬大六(東北大)，小川久(山形大)，富田耕造(河北新報)，荒川 昭(東北電通局)，安岡九寿男(東北地建)，加藤幸雄(東北電力)，今村一郎(東北電力)，本間四郎(東北電力)

監事 手島恒男(東北大)，鈴木義也(東北大)

幹事 後藤義雄(河北新報)，高野安二(東北地建)，高橋幸雄(東北大)，安藤二郎(東北工大)，山本保(東北電力)，五十嵐豊(東北電力)，砂金邦男(東北電力)

●中部支部●

開催日時 1977年3月8日

場所 愛知県中小企業センター

議事 (省略)

○1976年度収支決算書

1976.3.1～1977.2.28

科目	予算	決算
(収入の部)		
本部交付金	358,000	358,000
利息		5,538
合計	358,000	363,538
(支出の部)		
会議費	30,000	46,480

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会. 無断複写・複製・転載を禁ず.

講演会費	50,000	50,000
事務費	140,000	149,249
通信費	80,000	81,580
印刷費	60,000	42,800
予備費	92,008	0
合計	452,008	370,109
当期運営残高	△94,008	△ 6,571
前期繰越金	94,008	94,008
次期繰越金	0	87,437

○1977年度事業計画案

(1) 支部総会……1回
(2) 運営委員会……2～3回
(3) 幹事会……数回
(4) 支部研究発表会……1回
(5) 講演会……1～2回
(6) 20周年記念講演会……1回
(7) 研究会……数回
(8) 見学会……1～2回
(9) 懇親ハイキング……1～2回
(10) 懇親会……1回
(11) 支部会員名簿の作成……1回
(12) 支部ニュースの刊行……12回

○1977年度収支予算案

1977.3.1～1978.2.28

収入		支出	
科目	予算	科目	予算
前期繰越金	87,437	会議費	35,000
本部交付金	358,000	講演会費	50,000
		事務費	150,000
		通信費	80,000
		印刷費	60,000
		予備費	70,437
合計	445,437	合計	445,437

○1977年度役員

支部長　依田　浩(名古屋工業大学)
副支部長　飯原慶雄(南山大学)
運営委員　天野菊彦(中部品質管理協会)，岩田怜(名鉄コンピュータ・サービス)，伊藤一夫(東海銀行)，飯田次生(日本碍子)，木村修(トヨタ自動車工業)，田中庸平(中部電力)，中川覃夫(名城大学)，日比野康文(愛知学院大学)，平石義則(神鋼電機)，福村晃夫(名古屋大学)，藤波健(東邦ガス)，福田治郎(岐阜大学)，藤本憲雄(三菱重工業)，妙見孟(名古屋市立大学)，村田秀雄(仙波特許事務所)，本告光男(中部電力)，山田英夫(三菱自動車工業)，山下照(トヨタ自動車工業)，山本勝(名古屋工業大学)，吉野玄一(日本電信電話公社)
監事　沢　嘉也(名城大学)，内田欣一(日本電信電話公社)
幹事　天野菊彦(中部品質管理協会)，久野源三(中部電力)，中川覃夫(名城大学)，山本勝(名古屋工業大学)
顧問　小野勝次(名古屋大学)，西沢勇(中日新聞社)

ルポ

SSOR

若山邦紘

SSORという会が毎年夏の終わりごろに開催されるようになって，今年で13年目(50年はIFORSのため休会)になりました．参加メンバーは若手の研究者を中心に企業のORワーカー，それに大学院の学生です．今年は神戸商大の真鍋さんと竹田さんが事務局となり，兵庫県の加西市にある「いこいの村はりま」で第12回目の会合がありました．80名という大世帯でしたが，勉強も適当にさせていただきましたし，みなさんに遊んでもいただきました．また，帰りには姫路工大の寺岡さんの案内で姫路城も見学してきました．

第1回のSSORは昭和40年の8月末に飛騨高山で開催されましたが，38年ごろに小笠原先生(当時神戸商大，現在兵庫県教育長)が森村先生(東工大)，渡辺先生(現筑波大)，関根先生(慶大)といったほぼ同年代の先生らに，合宿をしてみんなで仲よくしたいと相談をされたそうです．そのころ，すでにPSGという確率，統計関係の若手の研究者の会があって活動していましたが，ここではORのことまでカバーできないので，ORをやる者だけが集まってPSGのようなことをやりたいという動機もあったようです．

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．